

2024年6月19日（水）

【登壇】

※850字

日本維新の会尼崎市議団の寺井大地でございます。会派を代表いたしまして、議案第54号に対する賛成討論を行います。

本市の卸売市場は、昭和28年に中央卸売市場として始まり、現在の位置には昭和42年に移転した歴史ある市場です。種々（しゅじゅ）の増改築を繰り返しながら施設の充実を図り、平成19年には公設地方卸売市場に転換し、現在に至っています。そのため施設は、築後50年を超えるものが多く、社会が求める必要な施設機能は昭和42年の現市場竣工時から大きく変わっているため、早期の機能更新が必要です。

市場再整備は平成24、25年度から進みかけていましたが、当時の卸売業者の撤退等により中断されるなど、なかなか議論が前に進まず、本来行うべき機能更新が図られないまま現在に至っています。その間、食品流通を取り巻く環境が変化し、生産者・消費者双方から低温温度管理、衛生管理の強化が求められるようになり、また、仲卸業者からは配送、加工を求める声も高まっています。

特に冷蔵庫棟については、老朽化が進む一方で、現在稼働している冷蔵設備が令和12年に生産全廃となるフロンR22の冷媒を使用していることが喫緊の課題となっており、現在の計画通り進んでも、民間の提案次第にはなりますが早くとも令和10年からの供用開始予定となります。

日本維新の会としては、市内でも交通利便性の高い広大な一等地に、現地建替で進めるのであれば、今後のリスクの想定・対策の検討、整理を行った上で、令和12年までに冷蔵庫棟の再整備が必要であること、また本市の持つ最後の広大な一等地の稼ぐ力を最大限に発揮させる必要があること等の理由から、本計画を迅速かつ丁寧に進め、市民の台所として市場を維持・拡大することはもちろん、物流倉庫ありきの整備を行うことなく、地域や市民に愛され本市の稼ぐ力を最大限に発揮できる施設となるようご尽力いただきたく、本議案に賛成いたします。

以上、よろしくご賛同賜りますようお願い申し上げます。賛成討論といたします。